

大平洋金属株式会社
2022年3月期 第2四半期決算説明会

2021年11月17日

当社ホームページ

<https://www.pacific-metals.co.jp/>

お問い合わせ先

総務部（IR担当）TEL:03-3201-6681



1. 経営環境について	
（1）新型コロナウイルス感染症の影響について	4
（2）LMEニッケル価格・ニッケル在庫数量の推移	5
（3）世界のステンレス生産とニッケル需給見通し	6
（4）地域別ステンレス生産とニッケル需給見通し	7
（5）ニッケル銑鉄（NPI）生産の動向	8
2. 2022年3月期 第2四半期決算実績	
（1）第2四半期決算実績	10
（2）連結経常損益分析	11
3. 2022年3月期 通期決算見通し	
（1）通期決算見通し	13
（2）国別販売先の動向	14
（3）国別販売見通し	15
（4）連結経常損益分析	16
4. 中期経営計画「PAMCO-2021」の進捗状況	
（1）主な重点施策の進捗状況まとめ	18
（2）鉍石調達について	19
（3）ESGへの取り組み	20
（ご参考）中期経営計画「PAMCO-2021」と実績値（予想値）との比較	21

1. 経営環境について



1. 経営環境について

(1) 新型コロナウイルス感染症の影響について

①生産・販売面

- **ステンレス鋼業界**
 - ステンレス需要に持ち直しの動き
 - ニッケル銑鉄（NPI）等へシフト
- **当社生産・販売数量**
 - 国内外向けとも前年同四半期比増

②調達面

- **鉱山会社の操業状況**
 - 概ね安定、当社生産・販売数量に見合う調達は維持
- **ニッケル鉱石価格**
 - 高水準で推移

③LMEニッケル価格

- **価格の推移**
 - 生産活動の回復及びワクチン接種加速等の期待感を背景に上昇基調
 - 一方で各国の景気動向等、不透明な状況は継続
 - 期を通しては比較的高水準で推移

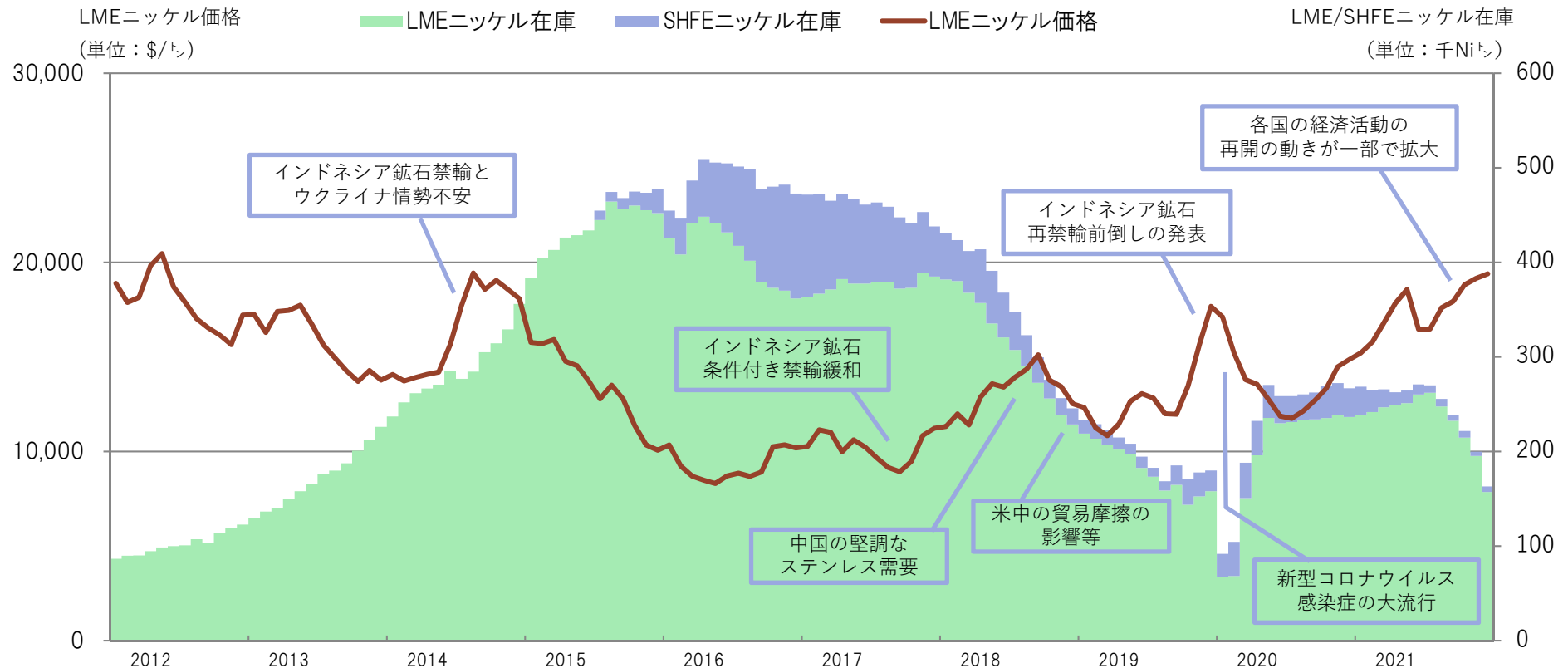
④当社の対応

- **感染拡大防止に関する行動指針**を策定
- 販売先及び調達先の各国と**適時適切なコミュニケーション**
- 業績の底上げ及び収益安定化に向けた取り組みを継続

1. 経営環境について

(2) LMEニッケル価格・ニッケル在庫数量の推移

※当社調べ



業績の推移	2012.3	2013.3	2014.3	2015.3	2016.3	2017.3	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3
売上高 (百万円)	48,330	58,488	56,408	61,225	47,649	38,697	41,210	49,062	44,133	32,217
営業利益 (百万円)	153	2,168	△4,079	△7,787	△15,357	△3,070	△3,239	176	△1,879	△493
経常利益 (百万円)	3,524	4,920	△1,838	△91	△12,283	△515	△203	3,451	972	3,344

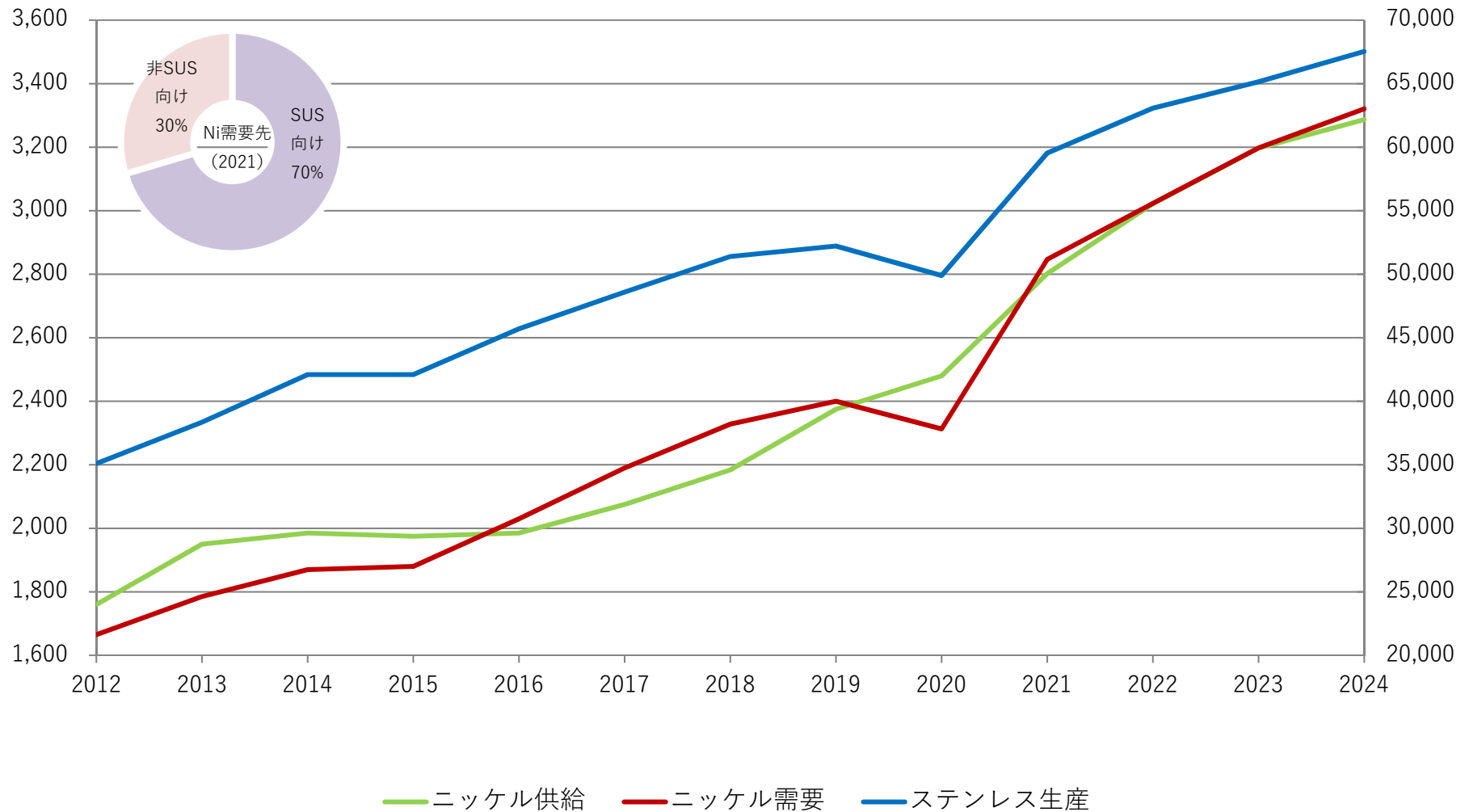
1. 経営環境について

(3) 世界のステンレス生産とニッケル需給見通し

※当社調べ

ニッケル需給 (単位: 千Niト)

ステンレス生産 (単位: 千ト)



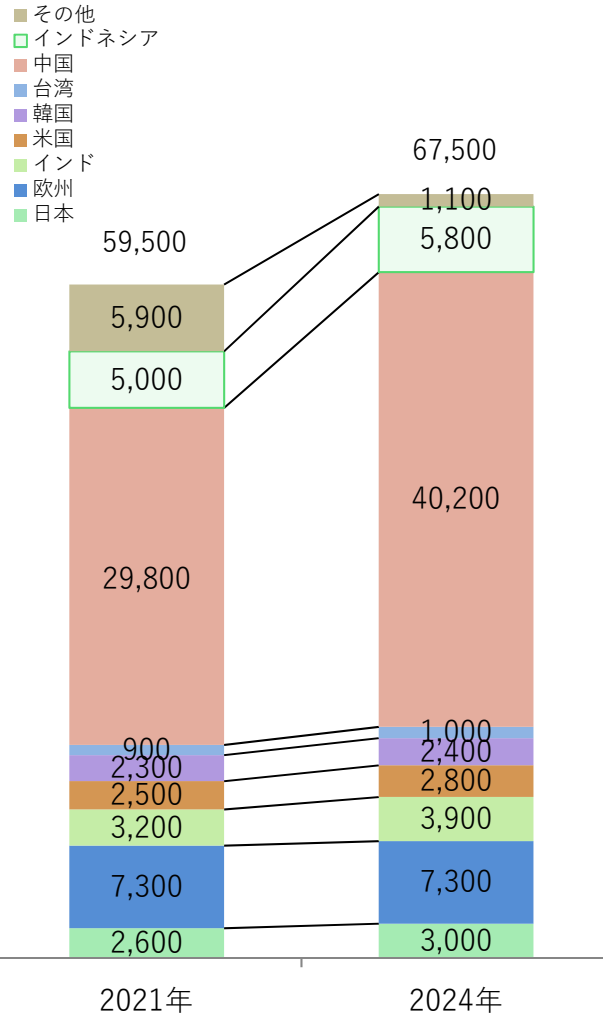
1. 経営環境について

(4) 地域別ステンレス生産とニッケル需給見通し

※当社調べ

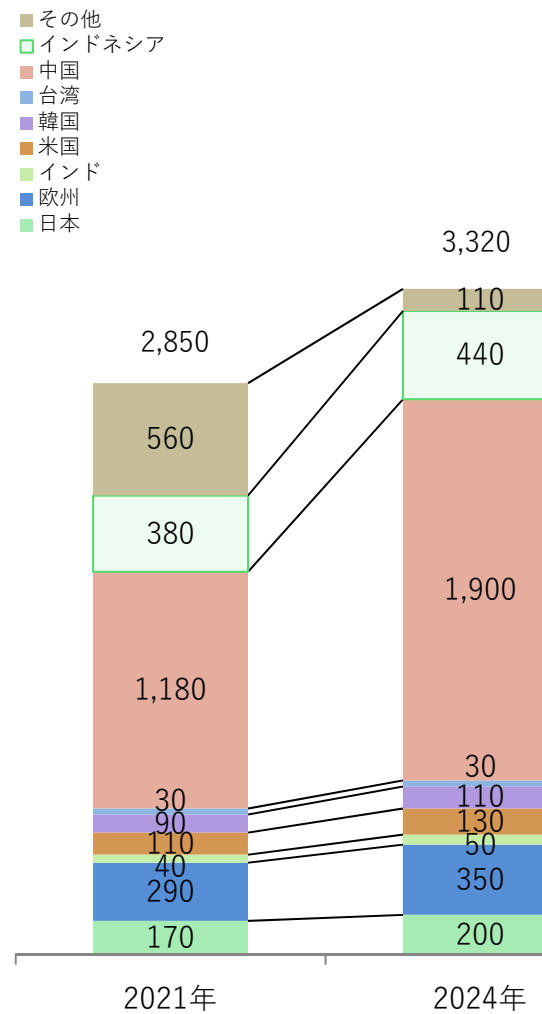
ステンレス生産見通し

(単位：千トン)



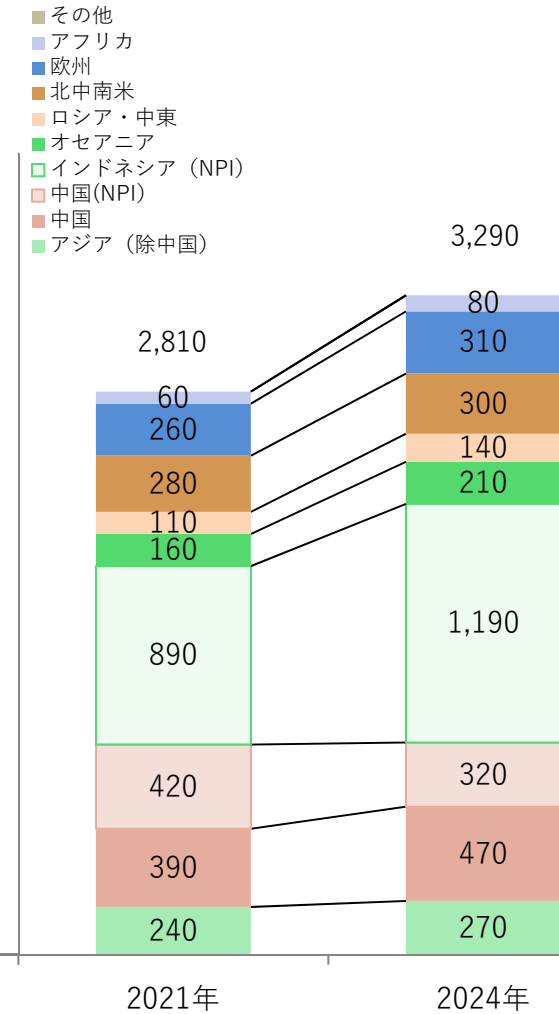
ニッケル需要見通し

(単位：千Niトン)



ニッケル供給見通し

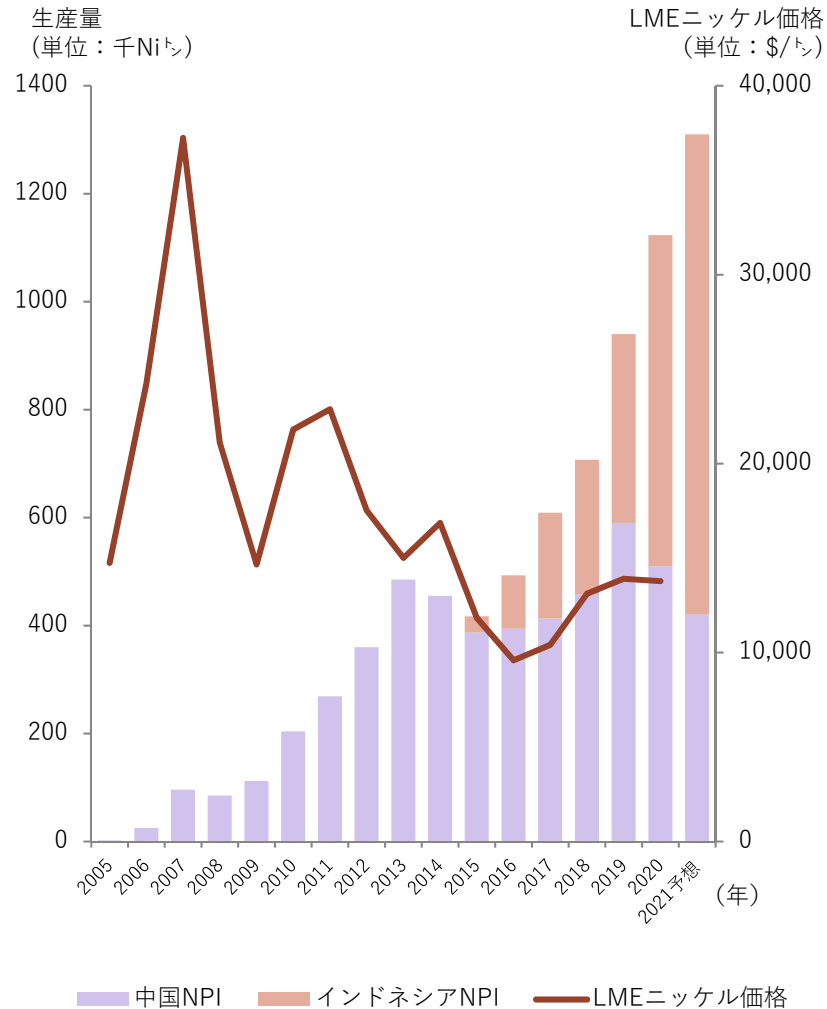
(単位：千Niトン)



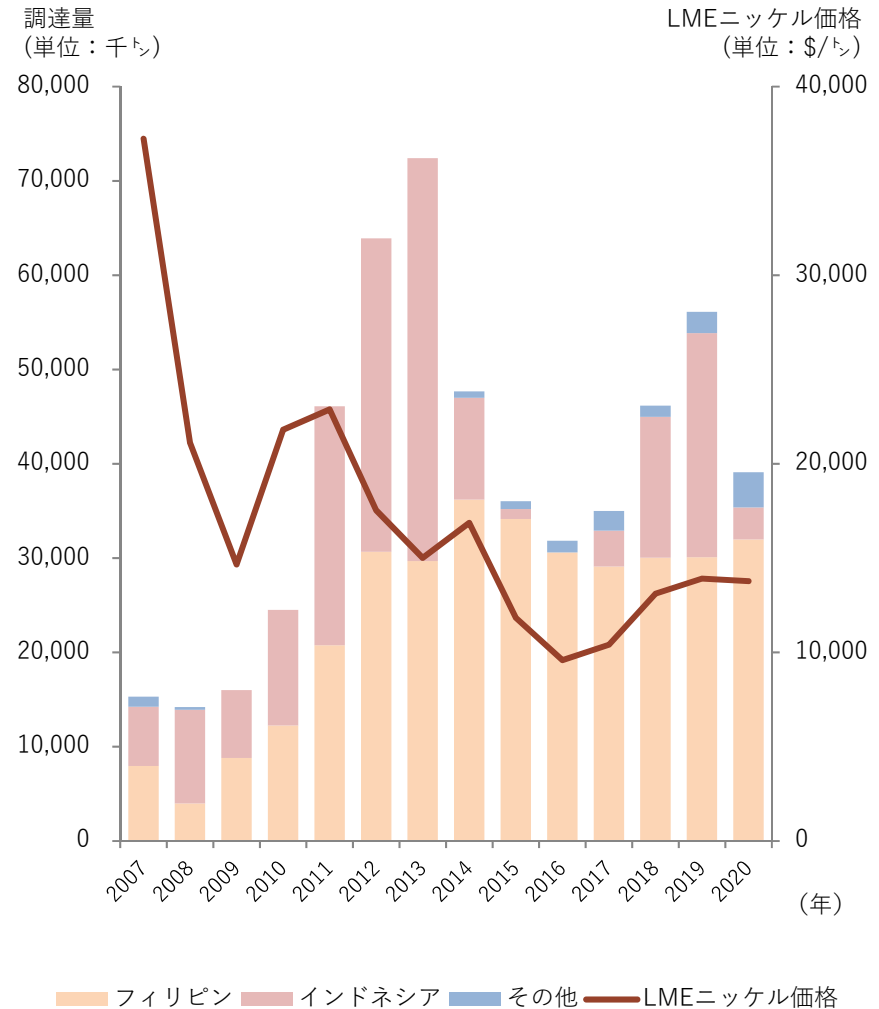
1. 経営環境について

(5) ニッケル銑鉄 (NPI) 生産の動向

ニッケル銑鉄 (NPI) 生産量の推移



中国のニッケル鉱石調達量の推移



2. 2022年3月期 第2四半期決算実績



2. 2022年3月期 第2四半期決算実績

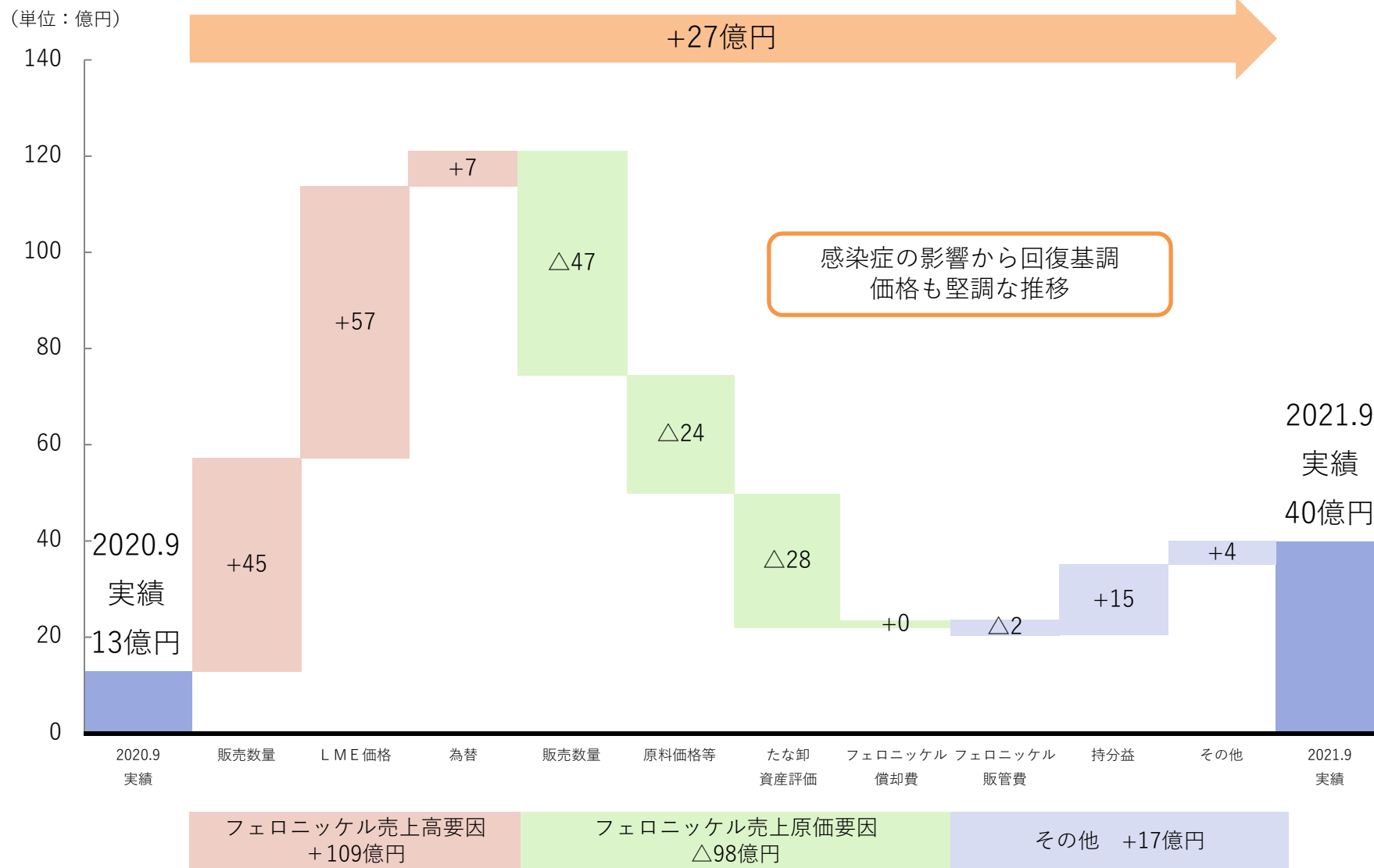
10

(1) 第2四半期決算実績

	2020.9 実績		2021.9 予想 (7/30発表)		2021.9 実績		対 前年同期比 (%)	対 7/30発表 予想比 (%)
	金額 (百万円)	利益率 (%)	金額 (百万円)	利益率 (%)	金額 (百万円)	利益率 (%)		
売上高	13,262	—	23,599	—	24,098	—	81.7	2.1
営業利益	△53	△0.4	△265	△1.1	952	4.0	—	—
経常利益	1,293	9.8	1,520	6.4	3,995	16.6	208.8	162.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,260	9.5	1,157	4.9	3,405	14.1	170.2	194.3
(投資額)	304	—	—	—	230	—	△24.3	—
(減価償却費)	180	—	—	—	131	—	△27.2	—

	2020.9 実績	2021.9 予想 (7/30発表)	2021.9 実績	対 前年同期比 (%)	対 7/30発表 予想比 (%)
生産数量 (Niトン)	9,374	11,469	11,874	26.7	3.5
販売数量 (Niトン)	9,674	13,047	12,957	33.9	△0.7
適用LME (\$/トン)	13,095	17,505	17,902	36.9	2.3
[適用LME (\$/lb)]	[5.94]	[7.94]	[8.12]		
適用為替 (¥/\$)	106.06	107.61	109.16	2.9	1.4

(2) 連結経常損益分析



3. 2022年3月期 通期決算見通し

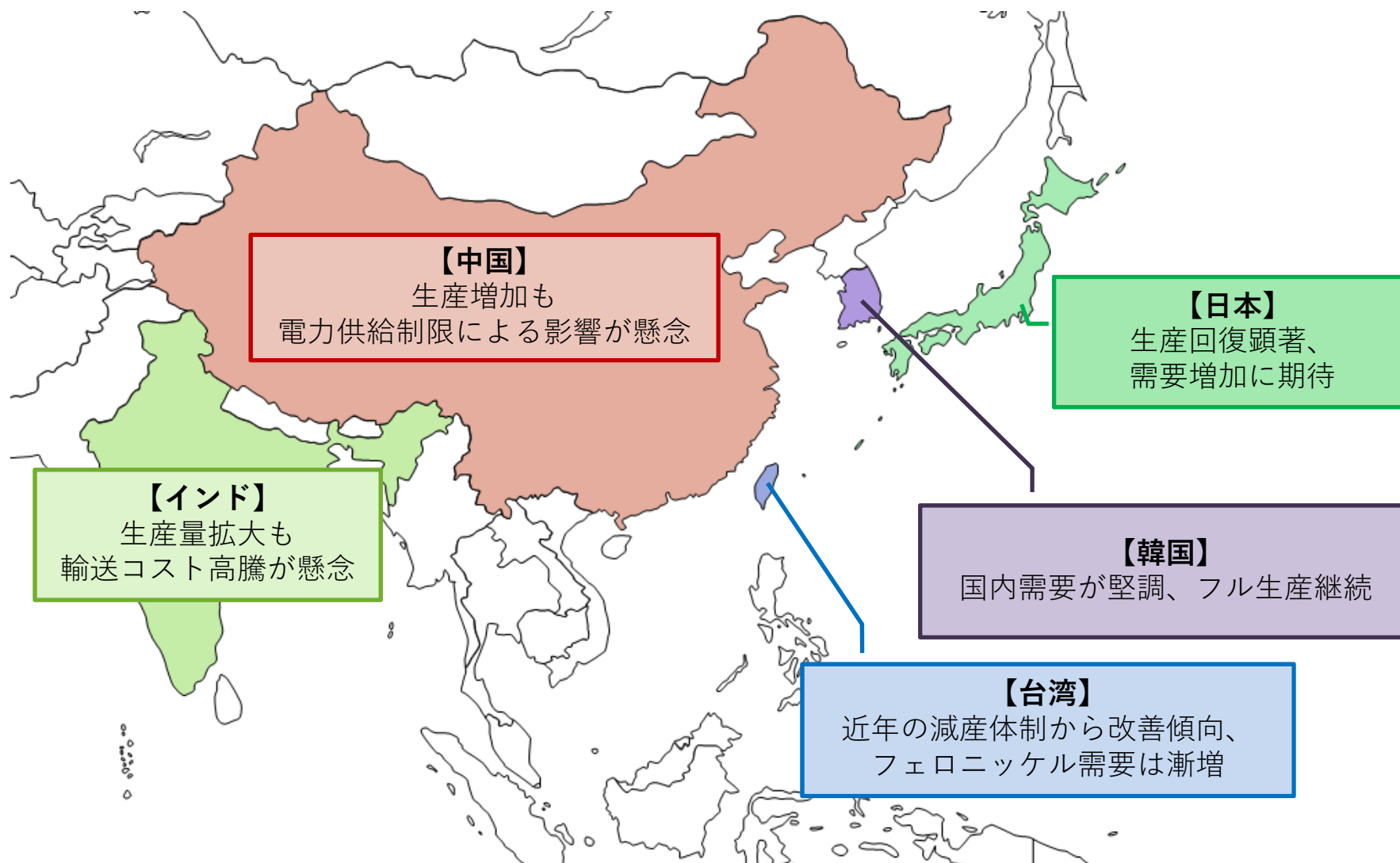


(1) 通期決算見通し

	2021.3 実績		2022.3 予想 (7/30発表)		2022.3 予想 (10/29発表)		対 前期比 (%)	対 7/30発表 予想比 (%)	トピックス
	金額 (百万円)	利益率 (%)	金額 (百万円)	利益率 (%)	金額 (百万円)	利益率 (%)			
売上高	32,217	—	46,591	—	51,840	—	60.9	11.3	<p>■売上高 需要回復基調、LME 価格上昇も堅調な推移 を見込み増収見込み。</p> <p>■損益 鉱石価格、燃料、 諸原料価格上昇等、業績 下押し要因あるものの、 持分法投資利益増加で 増益見込み</p>
営業利益	△493	△1.5	△843	△1.8	213	0.4	—	—	
経常利益	3,344	10.4	2,106	4.5	4,321	8.3	29.2	105.2	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,162	3.6	1,685	3.6	3,712	7.2	219.3	120.3	
(投資額)	1,249	—	—	—	3,016	—	141.5	—	
(減価償却費)	378	—	—	—	266	—	△29.6	—	

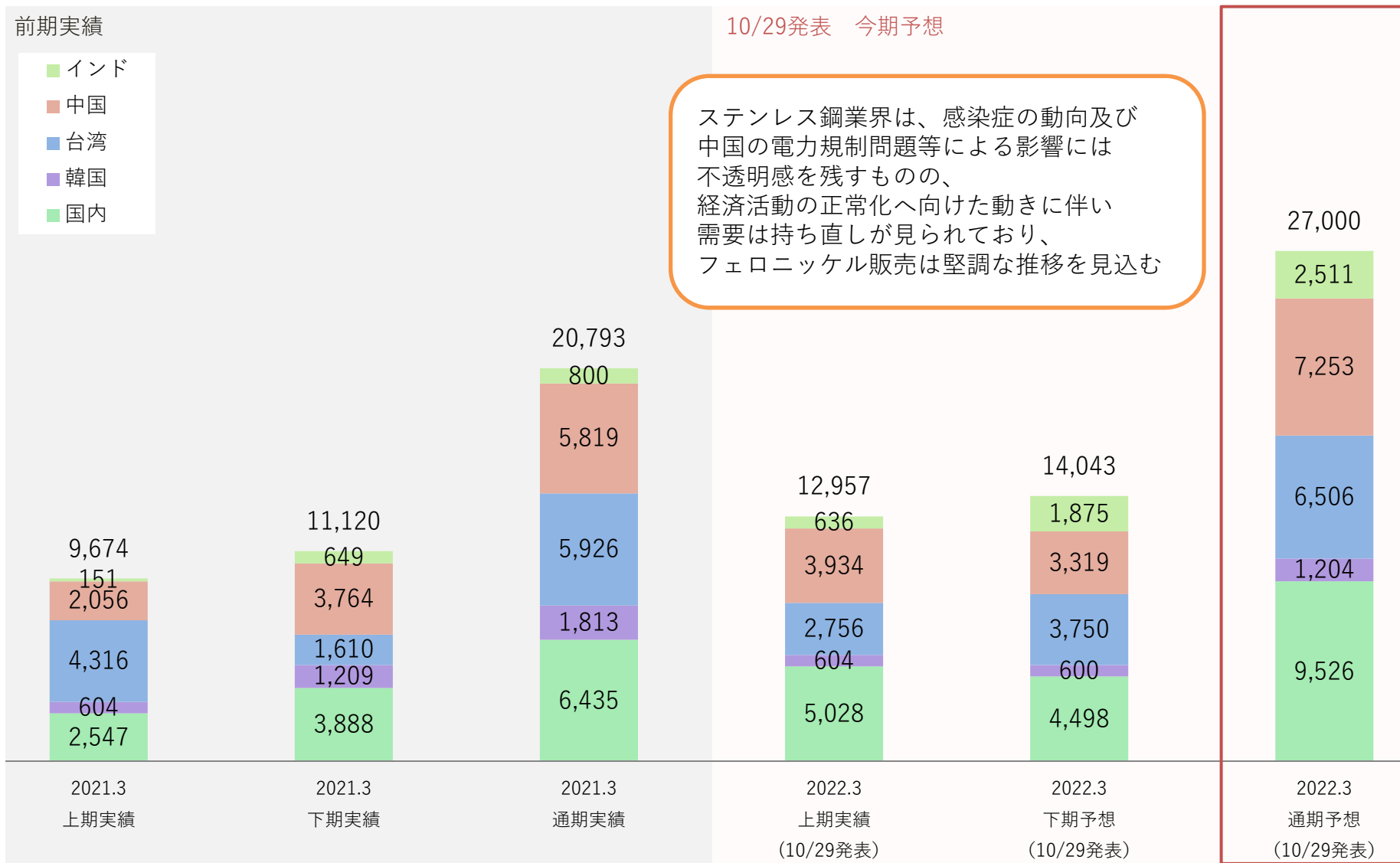
	2021.3 実績			2022.3 予想 (7/30 発表)	2022.3 予想 (10/29発表)			対 前期比 (%)	対 7/30発表 予想比 (%)	トピックス
	上期	下期	通期		上期実績	下期予想	通期予想			
生産数量 (Niトン)	9,374	9,040	18,414	25,010	11,874	14,280	26,154	42.0	4.6	<p>■生産・販売数量 前期より販売環境 は改善、顧客動向等 を踏まえ増販増産 を見込む</p>
販売数量 (Niトン)	9,674	11,119	20,793	26,000	12,957	14,043	27,000	29.9	3.9	
適用LME (\$/トン)	13,095	15,587	14,418	17,108	17,902	18,342	18,122	25.7	5.9	
[適用LME (\$/lb)]	[5.94]	[7.07]	[6.54]	[7.76]	[8.12]	[8.32]	[8.22]			
適用為替 (¥/\$)	106.06	104.47	105.21	107.01	109.16	108.06	108.59	3.2	1.5	

(2) 国別販売先の動向

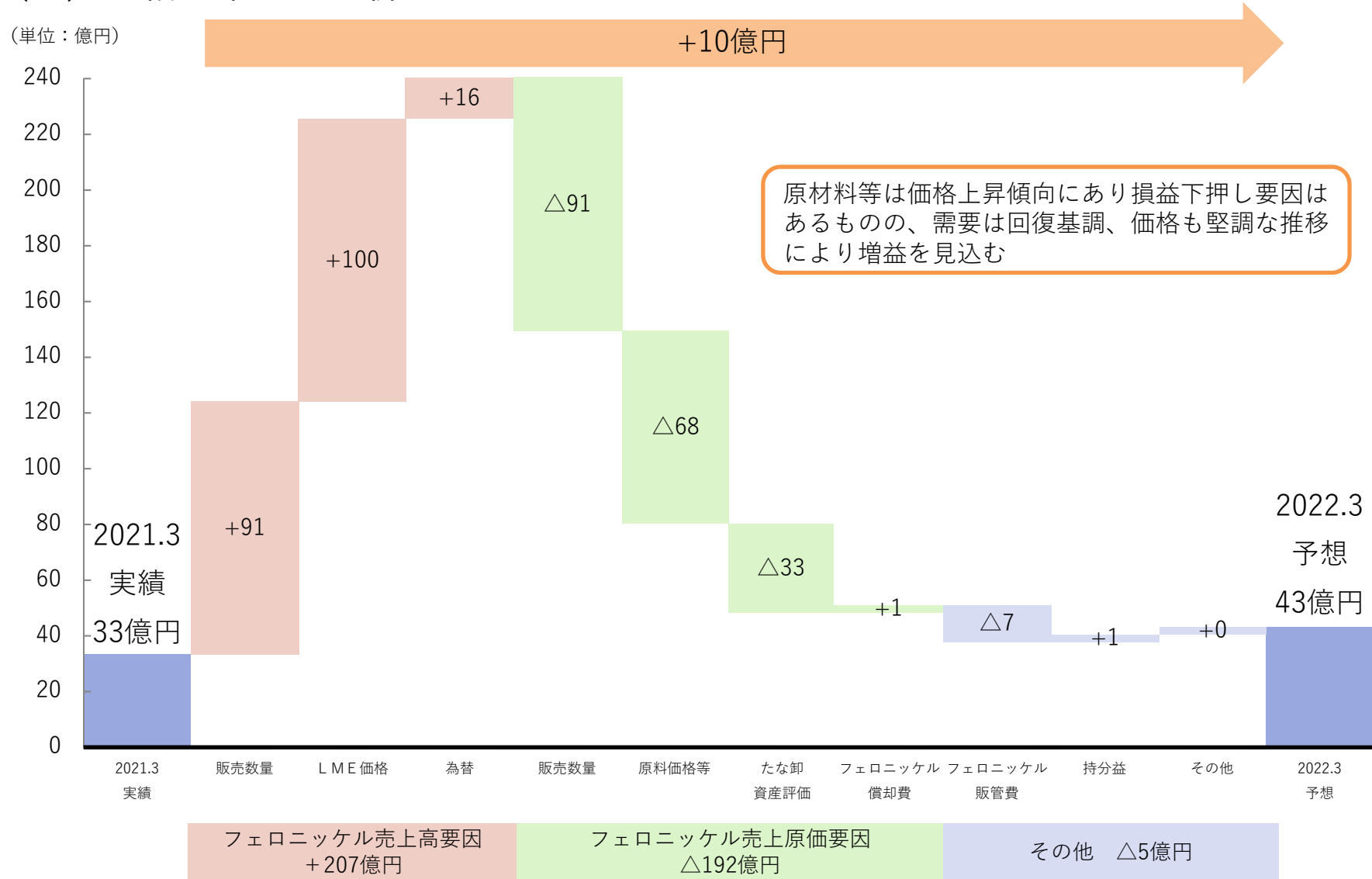


(3) 国別販売見通し

(単位：Niトン)



(4) 連結経常損益分析



4. 中期経営計画 「PAMCO-2021」の進捗状況



(1) 主な重点施策の進捗状況まとめ

① 最適生産体制構築のための「設備」の強化と「鉱石」の安定調達

- **最適生産体制**に資する設備投資の計画的な実行
- 新規鉱山開発及び鉱山権益獲得に向け、東南アジア、南太平洋の案件調査を継続
- 鉱山の状況調査を実施し、長期的な生産量維持に一定の目途

③ 国内事業の多角化 (新規事業への取り組み)

- 湿式製錬技術を活用した、**LIB材料**の製品製造に係る事業採算性を評価中
- リサイクル事業の再構築含む拡大検討に着手
- 2021年4月に資本業務提携契約を締結したアマタHDとの協同による**資源循環型事業**を検討中

② 海外事業展開を視野に入れた取り組み

- 海外パートナー候補との事業化を含めた検討は、コロナ禍により遅延

④ 収益力の強化

- LMEニッケル価格の変動リスクに対する対応
- **あらゆるコスト削減**を継続的に実施
(**約3億円***の削減効果) *2022.3 1Q-2Q累計
- 電力コストミニマムを追求した生産
- ニッケルを含む**リサイクル資源の活用量拡大**による製造コストとエネルギー使用量の低減

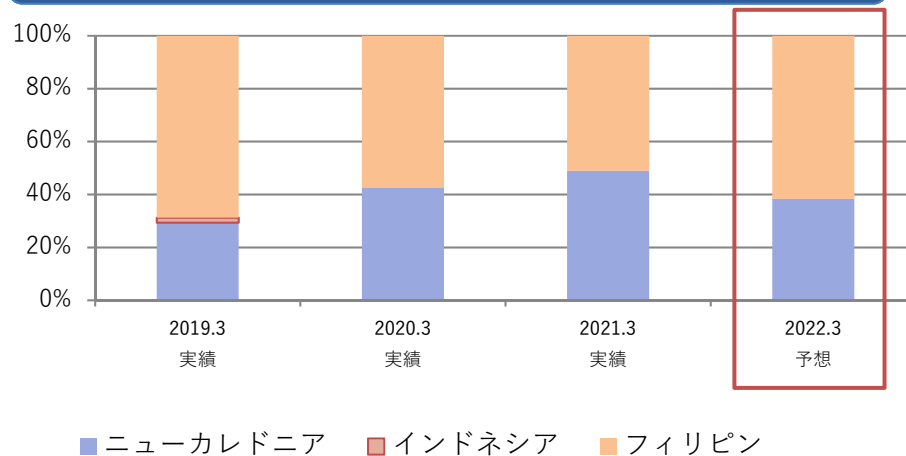
(2) 鉱石調達について

① 長期契約締結状況

長期契約先	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3
■ リオ・チバ・ニッケル社 (36%出資)				契約期間：2019.7～2023.12 (4年6カ月間)	
■ タガニート社 (33.5%出資)				契約期間：2019.7～2023.12 (4年6カ月間)	
■ カグジャナオ社				契約期間：2019.7～2023.12 (4年6カ月間)	
■ MKM社 (1)			契約期間：2014.1～2023.12 (10年間)		
■ MKM社 (2)			契約期間：2016.1～2025.12 (10年間)		
■ モンタニア社			契約期間：2016.4～2026.3 (10年間)		

■ フィリピン ■ ニューカレドニア

② 調達割合



③ 調達状況について

- ニッケル鉱石調達を取り巻く環境**
 - ▶ インドネシア鉱石は2014年1月に禁輸実施
 - ▶ 2017年1月～2019年12月まで一時禁輸緩和
 - ▶ その後、2020年1月より禁輸再開
 - ▶ 鉱石需給は引き続きタイトな状況が継続
- 当社の鉱石調達方針**
 - ▶ 継続した鉱石調達方針として、ニューカレドニア鉱石の調達拡大を推進

(3) ESGへの取り組み

①環境 (Environment)

- **環境負荷軽減への取り組み**
 - フェロニッケルスラグの全量リサイクル化
 - 製造設備の改良及び廃棄物処理技術の向上
 - 引き続きニッケルを含むリサイクル資源の活用量を拡大

③ガバナンス (Governance)

- **ガバナンス体制の向上に向けて**
 - 指名・報酬委員会の設置
 - 東証プライム市場の移行へ向け、改訂版コーポレートガバナンス・コード各項目への対応検討中

②社会 (Social)

- **地域社会との共生**
 - 青森県むつ市・風間浦村大雨被害に対する寄付金の進呈 (2021年8月)
 - 地元J3サッカーチーム「ヴァンラーレ八戸」とともに、子ども達対象のサッカーリーグ主催



▲▶ ヴァンラーレ八戸
および当社主催の
「PAMCOカップ」



(ご参考) 中期経営計画「PAMCO-2021」と実績値(予想値)との比較

21

「PAMCO-2021」期間 計画値 (2019年5月10日発表)	(単位:金額 百万円)	2020.3 計画	2021.3 計画	2022.3 計画
	生産数量 (Niトン)	33,000	29,000	32,500
	販売数量 (Niトン)	32,000	31,500	32,000
	適用LME (\$/トン) [\$ /lb]	13,691[6.21]	14,330[6.50]	14,837[6.73]
	適用為替 (¥/\$)	109.72	109.73	109.72
	売上高	50,816	51,872	55,097
	営業利益	391	△271	2,650
	経常利益	3,136	2,377	5,340
	親会社株主に帰属する当期純利益	2,872	2,020	4,876
	投資額	1,887	4,688	4,132
減価償却費	330	408	515	

「PAMCO-2021」期間 実績値(予想値)	(単位:金額 百万円)	2020.3 実績	2021.3 実績	2022.3 予想 (2021/10/29発表)
	生産数量 (Niトン)	30,885	18,414	26,154
	販売数量 (Niトン)	28,533	20,793	27,000
	適用LME (\$/トン) [\$ /lb]	13,867[6.29]	14,418[6.54]	18,122[8.22]
	適用為替 (¥/\$)	108.49	105.21	108.59
	売上高	44,133	32,217	51,840
	営業利益	△1,879	△493	213
	経常利益	972	3,344	4,321
	親会社株主に帰属する当期純利益	625	1,162	3,712
	投資額	530	1,249	3,016
減価償却費	330	378	266	



大平洋金属株式会社



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手された情報に基づくものであり、今後、発生する状況の変化により実際と異なる結果となることがあります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。

本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。
